

事業群評価調書(令和4年度実施)

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望を持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	企画部 IR推進課	小宮 健志
施策名	3 持続可能で魅力ある都市・地域づくり	事業群関係課(室)		
事業群名	① 特定複合観光施設(IR)区域の整備	令和3年度事業費(千円)	※下記「2. 令和3年度取組実績」の事業費(R3実績)の合計額	168,568

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)		(取組項目)								
観光需要が急速に拡大するアジアに最も近いという本県の強みを活かし、全国で3カ所を上限とする区域認定を獲得し、九州・長崎IRを実現することで、交流人口の拡大による観光・地域経済の活性化、良質な雇用創出の好循環を生み出し、九州の地方創生、ひいては我が国の発展にも貢献します。		i) 区域整備計画作成 ii) 広域連携・機運醸成 iii) 県民理解促進								
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)	
	国による特定複合観光施設(IR)区域の認定	目標値①	/	—	認定	—	—	—		認定(R4)
		実績値②	—	—	/	/	/	/		進捗状況
		達成率②/①	—	/	/	/	/	—		
									平成30年7月、特定複合観光施設区域整備法(IR整備法)が公布され、令和2年12月には、IR整備に向けた国の基本方針が公表された。区域認定は、令和4年度秋～冬頃となる見通しである。 こうした状況を踏まえ、令和3年度は、国の基本方針に基づき県において策定・公表した実施方針に沿って、IR事業者の公募・選定手続きを進め、選定したIR事業者と連携しながら、IR区域整備計画案の作成に取り組んだ。 また、併せて九州の合意形成に向けた九州各県・経済団体等への働きかけや、県民の理解を深めるための広報活動等を行った。	

2. 令和3年度取組実績(令和4年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要  令和3年度事業の実施状況 (令和4年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和3年度事業の成果等	
				R2実績	うち 一般財源	人件費 (参考)		主な指標	R2目標	R2実績		達成率
				R3実績					R3目標	R3実績		
				R4計画	R4目標	R4実績						
事業実施の根拠法令等				事業実施の根拠法令等								
事業期間				法令による 事業実施の 義務付け	県の裁量 の余地が ない事業	他の評価 対象事業 (公共、研究等)	事業対象					
所管課(室)名												
取組項目 i ii iii	○	1	特定複合観光施設導入 推進事業費	157,142	151,011	78,240	本県へのIR導入に向け、公募・選定手続きによってIR事業者を選定し、区域整備計画案を作成するとともに、九州の広域連携に向けた動きかけや県民の理解を深めるための広報活動等を行った。	【活動指標】	93	155	166%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の成果</li> <li>①公募・選定手続きを進め、IR事業者を選定した。(令和3年8月)</li> <li>②九州IR推進協議会を設立し(令和3年4月)、IRシンポジウムや(令和3年12月)、MICEフォーラム(令和4年1月)を開催したほか、多様な発注の受け皿づくりや事業者間のマッチング、九州・長崎IRを拠点とした広域周遊観光の構築などをオール九州で取り組み、IR実現に向けた機運醸成と事業計画の具体的な浸透を進めた。</li> <li>③九州地方依存症対策ネットワーク協議会を設立し(令和3年8月)、情報共有や連携強化を図りながら、eラーニングによる人材育成プログラムを作成した。</li> <li>④IR区域整備計画案(令和3年12月)、及び同計画案(令和4年3月)を作成した。</li> <li>⑤公聴会の開催(令和4年3月)のほか、県民向けのWebセミナーや県政出前講座等を開催し、延べ5,202名が参加するなど、理解促進を進めることができた。</li> <li>●事業群の目標達成への寄与</li> <li>上記の成果により、目標であるIR区域認定の獲得に向けて、令和4年4月末を期限とする国への申請準備を着実に進めた。立地市町村である佐世保市及び公安委員会の法定協議を経て、県議会の議決を受けた後、区域整備計画の認定申請を行い、国に正式に受理された。</li> </ul>
				168,568	159,593	123,330		関係機関(佐世保市・九州の経済団体等)との会議等開催回数(回)	155	430	277%	
				173,163	154,684	128,254		—	—	—	—	
			特定複合観光施設区域整備法	【活動指標】	—	—		—				
				国の審査委員会におけるプレゼンテーション	—	—		—				
				1	—	—						
				【成果指標】	策定	策定		100%				
				実施方針の策定	—	—		—				
					—	—		—				
				【成果指標】	公募・選定	公募開始		—				
事業者の公募・選定	公募・選定	選定	100%									
	—	—	—									
【成果指標】	—	—	—									
区域整備計画の作成(件)	1	1	100%									
	—	—	—									
【成果指標】	—	—	—									
区域認定(件)	—	—	—									
	1	—	—									
【成果指標】	—	—	—									
実施協定締結(件)	—	—	—									
	1	—	—									
H26-												
IR推進課	—	—	—	長崎県・佐世保市IR推進協議会								

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

<p>i 区域整備計画作成</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 (実績の検証) 令和3年度は、厳正な公募・選定手続きを実施し、選定した設置運営事業予定者とともに、IR区域整備計画の検討を着実に進めた。具体的には、有識者等からの意見を参考しながら、九州の観光並びに地域経済の活性化に寄与することができる高い波及効果を伴った区域整備計画素案及び計画案を作成し、県民の皆様のご意見や県議会でのご議論を踏まえながら、計画作成に向けて最終化を図ることができた。 (課題) 区域整備計画を作成し、県議会の議決を賜ったうえで、認定申請を行い、区域認定の獲得につなげる。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 令和4年度の秋～冬頃と想定される区域認定の獲得に向けて、IR事業者と連携しながら、国の認定審査に適切に対応していく。また、IR事業の実施状況を評価し、国に報告するためのモニタリング計画を作成するなど、区域認定後を見据えた準備を進める。</p>
<p>ii 広域連携・機運醸成</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 (実績の検証) 令和3年4月に九州IR推進協議会を設立し、IRの実現に向けた機運の醸成に加え、多様な発注の受け皿づくりや事業者間のマッチング、九州・長崎IRを拠点とした広域周遊観光の構築など、オール九州での準備を進めた。 (課題) ビジネスネットワークの構築や広域周遊観光の促進について、さらなる具体化に向けた関係団体との連携強化が必要である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 令和4年度は、引き続き九州IR推進協議会を核として、地元調達促進に向けたビジネスセミナー等を開催するとともに、民間主導によるビジネスネットワークの体制づくり、広域周遊観光促進に向けた検討を継続する。</p>
<p>iii 県民理解促進</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 (実績の検証) 令和3年度は、公聴会をはじめ、県民向けのWebセミナーや県政出前講座等を開催し、延べ5,202名が参加した。また、ギャンブル依存症など懸念される事項の最小化に向け、「九州・長崎IR安全安心ネットワーク協議会準備会」において様々な検討や情報共有に取り組むとともに、令和3年8月には「九州地方依存症対策ネットワーク協議会」を発足し、ギャンブル依存症をはじめ様々な依存症対策について、九州各県のさらなる連携強化を図った。 (課題) IRの区域認定を見据え、県民の理解をさらに深めるとともに、懸念事項対策の充実・強化に向けた具体的な検討を進める必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 九州・長崎IRについて、様々な機会を通してきめ細かな広報活動を継続することに加え、懸念事項対策の充実・強化に向けては、地域住民をはじめとする県民の皆様の参画を図り、IR事業者とも協働しながら、具体的な方策について、検討を重ねていく。</p>

### 4. 令和4年度見直し内容及び令和5年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事業事業名 事業期間 所管課(室)名	令和4年度事業の実施にあたり見直した内容 ※令和4年度の新たな取組は「R4新規」等と、見直しが無い場合は「―」と記載	令和5年度事業の実施に向けた方向性		
					事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目 i ii iii	○	1	特定複合観光施設導入推進事業費 H26- IR推進課	○区域整備計画の整備について、IR事業の実施状況を評価し、国に報告するモニタリング業務を推進するため、IR事業評価委員会(仮称)を設置する(R4新規) ○IRがもたらす高い事業効果を広く普及させるため、県内商工会議所・商工会に対する説明会を開催する(R4新規)	⑨	○IRがもたらす経済効果や雇用創出効果享受するため、九州IR推進協議会を通じた民間事業者の自発的な取組の促進や九州・長崎国際観光人材育成コンソーシアムの形成による専門人材の育成・確保に向けた取組を推進する。 ○IR開業後のMICE誘致に向けた具体的な施策を展開する。 ○区域整備計画に基づく事業の実施状況に関するモニタリングを実施しながら、着実かつ効果的な事業推進を図る。	拡充

注:「2. 令和3年度取組実績」に記載している事業のうち、令和3年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

#### 【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点